

みなまた 市議会だより

第58号

平成25年7月15日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail:[gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



- 3億5,120万円の一般会計補正予算を可決
- 誘致企業立地促進補助金を削減する修正案を可決
- 水俣市職員の給与の臨時特例に関する条例を可決

〈特集〉 議会報告会を開催しました (12ページから掲載)

就任のごあいさつ

水俣市議会議長 大川 末長



この度第29代議長に選任いただきました大川末長でございます。六十有余年の歴史と伝統ある市議会議長に就任し、身の引き締まる思いがいたしますとともに、その責任の重さを痛感いたしましたところでございます。

さて、本市を取りまく状況は人口の減少、少子高齢化の進行、地域経済の低迷、それに伴う雇用機会の減少など大変厳しいものがございます。これらは行政と議会が一体となって取り組むべき喫緊の課題であり大いに議論を交わしながら進めて参りたいと思います。

本年度は通常の一般行事の他、天皇后陛下をお迎えしての「全国豊かな海づくり大会」、世界140カ国の政府代表団などが参加して開かれる水銀に関する水俣条約外交会議、日本商工会議所青年部全国会長研修会等、いずれも一〇〇〇人規模の今までかつてないような大きなイベントが開催されます。これを、よみがえった美しい水俣を全世界へ発信できる絶好の機会としてとらえ、市民、行政、議会が一体となってささえ成功させたいものです。

また、議会は本来果たすべき役割がございます。それらを十分わきまきまながら、皆様の身近な存在として、開かれた信頼される議会運営に努めながら負託に応えてまいりたいと思います。目指すところは本市の発展と皆様の福祉の向上であり、そのために誠心誠意頑張っておりますので、より一層のご理解とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

水俣市議会副議長 高岡 利治



この度の、六月議会において副議長に選任をいただきました高岡利治でございます。近年、地方分権がさげられる中、地方議会の果たす役割がますます重要になってまいりました。

水俣市議会も二元代表制の一翼を担うことの自覚を持ち、市民のみなさまの声を市政に反映させるため、真摯に議論を重ねる覚悟が求められております。議会基本条例の制定にともない、議会改革の一環として、市議会の活動や情報を積極的に発信していく必要があります。

その一つとして、昨年の十二月議会からインターネット中継をはじめました。また、録画中継もはじめましたので、昼の議会を傍聴できない方も、自宅で自分の好きな時間に議会が見られるようになりました。是非、ご覧いただき議会の取り組みと動きに関心をもっていただければ幸いです。

今年の十月には、天皇、皇后陛下をお迎えしての、「全国豊かな海づくり大会」をはじめ、大きな行事を控えております。議会も一体となって大会を成功させると共に、よみがえった美しい水俣を全国に発信していきたいと思っております。市民のみなさまのご協力をお願い申し上げます。議長を支える立場として職務を遂行して参ります。宜しくお願い申し上げます。

議会構成が決まりました 6月定例会

5月31日(金)、正副議長の辞職並びに常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、正副議長、各委員会の構成などが決まりました。

正副議長 議 長 大川 末長 副議長 高岡 利治

常任委員会

委員会名	所 管 事 項	正副委員長	委 員		
総務産業 定数8人	総務企画部、産業建設部、農業委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員会、議会事務局、水道局の所管事項に関すること	(委員長) 澗上 道昭	大川 末長	中村 幸治	谷口 眞次
		(副委員長) 谷口 明弘	江口 隆一	福田 齊	野中 重男
厚生文教 定数8人	福祉環境部、教育委員会、総合医療センターの所管事項に関すること	(委員長) 塩崎 信介	高岡 利治	川上紗智子	真野 頼隆
		(副委員長) 田口 憲雄	西田 弘志	牧下 恭之	緒方 誠也

議会運営委員会

所 管 事 項	正副委員長	委 員		
議会運営、議会の会議規則・委員会条例等、議長の諮問に関すること	(委員長) 福田 齊	谷口 明弘	真野 頼隆	野中 重男
	(副委員長) 江口 隆一	中村 幸治	緒方 誠也	

特別委員会

(※6月13日(木)、一部交代)

委員会名	所 管 事 項	正副委員長	委 員		
公害環境 定数8人	水俣病対策及び環境保全に関する諸問題の調査	(委員長) 澗上 道昭	谷口 明弘	塩崎 信介	緒方 誠也
		(副委員長) 中村 幸治	田口 憲雄	牧下 恭之	野中 重男
高速交通 定数7人	南九州西回り自動車道の建設に関する諸問題の調査	(委員長) 西田 弘志	高岡 利治	福田 齊	谷口 眞次
		(副委員長) 江口 隆一	川上紗智子	真野 頼隆 (※)	



6月定例会の報告

6月定例会が5月31日から6月19日まで開かれました

条例

条例の制定1件を可決

●水俣市職員の臨時特例に関する条例
国から公務員の給与減額実施要請に基づき制定するものです。

条例の改正6件を可決

●水俣市税条例の一部改正（専決処分）
個人住民税の住宅借入金等特別控除の特例延長・拡充、固定資産税の耐震改修を行った住宅に係る減額措置の拡充、延滞金の見直し等のために改定するものです。

●水俣市国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）
後期高齢者医療保険制度施行時に定められた軽減判定の特例の恒久化、世帯別平等割額算定の負担軽減措置の延長のために改正するものです。

●水俣市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
新型インフルエンザ等の緊急時に国又は他の地方公共団体から水俣市に派遣された職員に対し、手当を支給するよう改定するものです。

●水俣市営住宅条例の一部改正
白浜団地4号棟の建設による住宅供用開始に伴い改正するものです。

●水俣市都市公園条例の一部改正

水俣市都市公園の円滑な管理運営を図るために改正するものです。

●水俣市公園の設置等に関する条例の一部改正
水俣市公園の適正な管理運営を図るために改正するものです。

予算

専決処分（補正予算）2件を承認

【平成24年度一般会計補正予算（議第48号・51号）】
事業費の確定による調整や基金（市の貯金）への積み立てを計上したものです。

△1億2,680万円

主な事業

○県道路整備事業負担金

△907万円

○湯之児公園再整備工事他

△3,305万円

平成25年度一般会計補正予算を修正可決

（誘致企業に対する補助金2,500万円が計上されましたが、削除されました。）

【一般会計（議第56号）】

3億5,120万円

市職員の人事異動に伴う人件費の調整のほか、主に次のようなものが

（千円）

【平成24年度 会計別補正予算】

会計名	補正額	補正後の額
〈一般会計〉専決処分	△126,805	14,991,233

（千円）

【平成25年度 会計別補正予算】

会計名	補正額	補正後の額
〈一般会計〉	351,203	14,203,078
〈特別会計〉	2,682	9,615,211
国民健康保険事業	△3,543	4,476,198
後期高齢者医療	△1,375	393,553
介護保険	784	3,369,932
公共下水道事業	6,816	1,375,528
〈企業会計〉	-	-
水道事業(収益的支出)	△11,329	330,758

計上されています。

○障がい者住宅改造事業 90万円

○一小学童クラブ増設工事 231万円

○小児慢性特定疾患児日常生活用具給付費 19万円

○水俣PRポスター・DVD等製作費 300万円

○地場企業新産業・雇用創出促進補助金 5,000万円

○私道災害復旧工事補助金 50万円

○生ごみ処理機製作費 102万円

平成25年度特別会計補正予算5件を可決

市職員の人事異動に伴う人件費の調整が計上されています。

調整が計上されています。

【国民健康保険事業（議第57号）】

△354万円

【後期高齢者医療（議第58号）】

△137万円

【介護保険（議第59号）】

△78万円

【公共下水道事業（議第59号）】

681万円

【水道事業（議第61号）】

1,133万円

契約

●工事委託に関する基本協定の締結
水俣市浜雨水ポンプ場建設工事を5億6,400万円で日本下水道事業団と随意契約を締結するもの

財産の処分

●公有財産の処分について
土地を国土交通省が施行する一般国道3号線南九州自動車道芦北出水道路用地として、1億1,710万円で処分するもの

請願・陳情

次の陳情3件と請願1件は慎重審査を要するため、継続審査としました。
○「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する請願
○携帯電話基地局設置に関する条例の制定を求める陳情

○防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書提出に関する陳情

○久木野地区における入居施設整備に関する陳情

意見書

意見書1件を可決

○ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書

水俣市においては、当該建築物の所有者の実情等を十分踏まえ、必要な財政支援措置が確立されるまでは、施行期限を延長すること及び耐震診断結果の公表を猶予するなど、特段の配慮がなされるよう全会一致で可決し、国に提出しました。

報告

市長から次の報告がありました。

○繰越明許費の報告（一般会計・公共下水道事業特別会計）

○株みなまたの経営状況報告

○水俣市土地開発公社の経営状況報告

○財水俣市振興公社の経営状況報告

○株みなまた環境テクノセンターの経営状況報告

○専決処分の報告（損害賠償の額の決定）1件

議案の審議結果

▼賛否の分かれた議案▼

議案名	会派・議員名														結果		
	創水会							未 来 みなまた		新政同友 クラブ		無限21		日 本 共産党		公明党	
	大川	高岡	江口	谷口	田口	洲上	真野	中村	西田	塩崎	福田	谷口	緒方	野中	川上	牧下	
水俣市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
	～議論となったこと～ 地方に任せるべき、地方公務員の給与に関して、国が全国一律に減額を求めることに対してどうか																
平成25年度水俣市一般会計補正予算（第2号）修正案	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
	～議論となったこと～ 平成24年9月に立地協定を結んだ誘致企業への誘致企業立地促進補助金（2,500万円）について適切かどうか →補正予算中、誘致企業立地補助金について予算を修正（削除）しました。																

【賛】：賛成 【反】：反対

* 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決かを決定することができる裁決権が認められています。

* 会派名・議員名の並び順：①多数会派順②会派代表者議席順③会派内の並びは議席番号順

→議案の内容については④ページ、委員会での審査内容は⑩ページをご覧ください。

平成25年 第2回 定例市議会 一般質問

－質問と答弁を抜粋して掲載してあります－

質問時間は答弁を含めて1人70分以内。「一問一答方式」で1つの質問項目に対して、続けて2次、3次の質問ができ、傍聴者にとってもわかりやすくなったと好評です。

真野 頼 隆 議員

水俣ローズフェスタについて

問 今年の春の入場者は何人か

答 これまでで最も多い約4万5千人でした。

問 これまでの集客数の推移はどうか

答 平成21年度にバラ園が開園し、初年度は春と秋を合わせて約2万7千人、平成24年度は約4万2千人、今年はそのみで約4万5千人であり、大幅に増えている。

問 経済効果はどれくらいか

答 宿泊、おみやげの売り上げ、食事など約2億8,000万円と見ている。

みなまたローズマラソンについて

問 大会をどう評価するか

答 水俣市陸協の主催で初めて開催され、予定の300人を大幅に上回る約800人の参加があり、応援者も含めたいへん賑わい、スポーツの振興や交流人口の拡大に大きく貢献したと思っている。

エコパーク周辺整備について

問 物産館まっぼづくりを3号線に面した所に移す計画はないか

答 現在のところ考えていないが、南九州西回り自動車道の全線開通を見据え、将来のビジョンとして検討したい。

ホームセンターサンコー跡地にエコパーク駅の設置は考えられないか

答 当面は老朽化が進んでいる水俣駅の再整備を考えており、新駅の設置はその後の検討課題としたい。



2013、春 ローズフェスタ

が進む中、収集については更なる検討が必要ではないか

答 高齢化率が平成32年には40%を超えるとの予測もあり、適時市民の意見を聞いて、対処していきたい。

問 これからのごみ分別について、責任ある立場の人が市民に対して説明したり、市民からの要望を聞く場を設けるべきと思うがどうか

答 リサイクル推進委員会議の中で、対応していきたい。

地域公共交通について

問 水俣市路線バス・コミュニティバス・乗合タクシー・スクールバスの補助金はどのようになっているのか

答 平成24年度の路線バス及びコミュニティバスの合計は3,823万4千円、乗合タクシーは1,276万円、スクールバスは136万6千円になっている。

問 地域公共交通運営の今までの成果と今後の課題は何か

答 成果については、交通空

白地区への導入は完了し、地域公共交通の整備はほぼ図られたと認識している。今後の課題は、人口減少に伴う利用者の減、市からの補助金の増加等が予想される。

地区管理の防犯灯について

問 地区が設置し管理している防犯灯は何基あるのか。そのうち、白熱球・蛍光灯の数量は把握しているのか

答 地区で設置管理している防犯灯は、2,537基、白熱球・蛍光灯の数は、電気料金区分によると、約2,460基です。

問 現時点でLED化した防犯灯は何基あるのか

答 LED防犯灯については、20Wまでの料金区分に属する80基程度が、設置されていると思われる。

中村 幸 治 議員



水俣市古城のLED防犯灯

○ LED化した場合のメリット・デメリットは何か
 答 メリットはCO₂排出量の削減や地区で負担している電気料の削減があげられる。又、長寿命による電球交換の手間と経費の軽減が図られる。デメリットは、電灯器具自体の価格が高く、取り付ける際の費用が割高であること。

○ 地区管理の防犯灯を全基LED化する考えはあるのか
 答 今後、防犯灯を全てLED化した場合の初期費用の捻出方法や負担割合、CO₂削減量や地区の維持管理などについて調査を行い、その内容を地域に示しながら、可能性を検討することとする。

塩崎 信介 議員

古紙リサイクル事業

○ 平成25年度一般会計補正予算の中に誘致企業立地促進補助金が計上されているがどういうことか
 答 本補助金は、水俣市誘致企業立地促進補助金交付要綱に基づき、誘致企業の立地促進のために交付する補助金であり、今回、予算計上する2,500万円は、平成23年9月26日に本市と立地協定を締結した株式会社田中商店の古紙リサイクル事業に対するものである。

○ 本件は、平成23年11月に同社から提出された企業立地促進補助金交付対象工場等指定申請書を補助金交付要綱に従って審査した結果、補助金の交付対象要件を満たしているかと判断し、平成23年12月議会、及び平成24年3月議会において補正予算案を上程したが、議会から特定業者と随意契約に関する覚書を交わしたことや、地場企業が同種の新事業を行う場合、同様な補助

金制度がないことなどが不信感や不公平感につながっているという指摘を受け、今日まで議会の承認を得られていない状況である。

○ 議会より指摘があった、随意契約に関する覚書については、雇用の発生、土地賃借料、固定資産税など総合的に判断し、本市にとって最善であると判断したが、結果として、市民、業者をはじめ議員の皆さまに対して不信感を与え、ご迷惑をおかけしたことから、私も覚書については適



水俣市産業団地

当でなかったと反省し、議場で謝罪をした。

○ その後、田中商店より覚書を白紙に戻したいとの要望書が提出され、本年1月18日に覚書を解除する手続きを行っている。

○ この覚書撤回を受け、1月30日に平成25年度古紙類取り扱い説明会を開催し、業者の皆さまに古紙類の取り扱いがこれまでどおり、見積もり合わせ入札に戻することを説明し、ご理解をいただいているところである。

○ 湯の児の4つの公園が整備されたが、更なる整備について海岸道路の木の伐採、桜の再生等、環境整備を進めべきと思うがどうか
 答 交流人口の拡大を図るため、おもてなしの公園として、設計段階から地元関係者の意見を頂きながら整備を進めてきた。今後は、観光釣り船用浮き桟橋フィッシングパーク観光案内板、市道湯の児線の整備を進める。また木の伐採や桜の再生等は土地所有者の理解や財政面もあり検討していきたい。大崎鼻、湯の児公園は、アドプト制度により22区自治会に管理を引き受けていただいた。

○ エコパーク埋立地の今後について
 答 埋立地は、暫定措置ときいているが今後の処理計画と水俣湾などの調査結果と安全性はどうか
 答 これまでも毎年地盤の状況や水銀濃度調査等行われてきた。有害な損傷、水銀の流出は確認されていない。魚介類についても平成7年以降、暫定規制値を超えていない。県にこれらの数値の公表をお願いし、市としても藻場造成事業、アカモクの育成、ヒラメ放流事業など、海の環境復元をPRしていきたい。

谷口 眞次 議員

湯の児観光振興について

○ 湯の児の4つの公園が整備されたが、更なる整備について海岸道路の木の伐採、桜の再生等、環境整備を進めべきと思うがどうか
 答 交流人口の拡大を図るた

携帯電話中継基地設置について

問 これまで中継基地建設について住民からの苦情や相談はなかったのか。今後、条例を制定すべきと思うがいかが

か
答 H15年に月浦地区から一件、今年に入って工事中止を

求める情報が農業委員会を通じて一件あった。総合通信局より業者には地域住民への説明会の指導を行っている。条例制定については今のところ考えていないがどのような方法があるかも含め研究したい。



▶携帯中継基地（おれんじ館横）

水俣川の水難事故について

問 再発防止策は検討したのか。学校や家庭での教育は徹底されていたのか。現場の土砂や竹などの撤去は出来ないのか

答 臨時校長会等を開き指導した。注意書きの設置や土砂撤去等、県と相談する。

野中重男 議員

水俣病について

問 ①本年4月最高裁は判決を下した。どのようなものか。

②感覚障害だけで水俣病と判断した。環境省は判断条件をどうすると聞いているか。③

水俣病特措法に申請した1969年12月以降生まれの人で、

公健法の認定基準を上回る臍帯水銀値の人がいる報道がある。人数は何人か。④出生年

での線引き、判断条件の見直しが必要と考えないか

答 最高裁は棄却処分取り消しを認めた福岡高裁判決を支持し水俣病と認めた。②環境

省は判断条件を変えないと言っている。③人数は数人と

聞いています。④国では検討の作業に入っている。立ち入った方策が必要と思う。今後予想される地震や津波対策について

問 ①熊本県は詳細な資料の提供をしたが内容は。②今後の市の対応は。③海抜表示を急ぎ、個別受信機の設置をすべきではないか

答 ①断層のずれで地震や津波が発生し建物被害、死傷者被害、上下水道などインフラ被害など多岐にわたる。②分析がある。県と相談し今後に生かす。③本年度も予算に入れている。デジタル放送への転換に合わせて検討する。

認知症への対応について

問 ①水俣市民の中で認知症の人はどれくらいか。②今後の推移は。③市では平成21-

22年に認知症地域支援体制構築等推進事業を実施している。その結果についてはどうか

答 ①65歳以上の市民で1,165人である。②ピーク時

で1,400人と考える。③市民向けのサポーター養成講座を行い、早期発見などの予

防教室実施、地域ネットワークを構築した。今後は予防ができる街づくりを進めたい。

水俣城の発掘調査について

問 ①これまでの到達点について。②県の担当者などから今後の示唆をもらっているか

答 ①丘陵の北及び東から7か所の石垣や遺構を確認した。また堀の痕跡もあった。②文

化庁は中世部分も調査し近世への変遷を遂げた城として様

相を明らかにし、県からは二の丸、三の丸の有無や範囲確

認のアドバイスをもらっている。

湯の児景観整備について

問 大崎鼻公園から湯の児島公園に至る4つの公園が完成した。今後はこの4つの点と

なる公園を結ぶ線である海岸道路から不知火海を見渡せる

見事な景観の復活事業に取り組むことが出来ないか

答 近年、腰高の雑草や樹木の成長により貴重な景観が阻

害されている。枝切りなど行

い、この区間の景観を整備復活させることで、非常に効果が上がると思われる。距離が



水俣城の発掘調査

福田 斉 議員



長いため、民有地もあり協力が必要など、今後財源の確保も含め、湯の児海岸道路の景観復活事業構想について検討したい。

「水銀に関する水俣条約」問題について

問 風評被害の原因となった水俣病の名称については当時の厚生労働省が便宜上水俣病としたばかりに、大変嫌な思いもしてきた。水俣出身と言えず、熊本出身ですと答えて

いた頃の自分の苦い思い出もある。重苦しい白黒の映像を流し続けた当時のマスコミの最大の汚点でもあり、そう

いった地域差別を助長するよくなことが今後続いてはならないとして水俣条約という命名には必死に反対してきた。市民には色んな思いもあることを市長は国にまず具申すべきではなかったか

答 市民にさまざまな思いがあることを承知している。水俣病の歴史と再生に向けた現在の水俣を多くの方々にアピール出来る今回の外交会議に期待している。

問 市立水俣病資料館の年間管理経費が約5,800万円である。バッテリーと全額を国負担にさせて国立化し、風評

被害防止に向けた情報も発信すればよい。環境省主導で決定してしまった条約名称であり、今後の風評被害防止への国の覚悟を問うためにも堂々と国立化を主張すべきであると思うがどうか

答 これまで資料館企画委員会の議論を受けて、必要とされる増改築や事業の推進にあたり国や県から格段の配慮を受けてきた。市の財政状況を踏まえ今後も国、県に協議と支援を求めてゆきたい。

川上 紗智子 議員

生活保護基準の引き下げ、生活保護法改正(案)と市民の暮らしについて

問 生活保護基準の引き下げによって、水俣市の生活保護受給世帯にはどのような影響が出るのか

答 保護基準については、今年1月に取りまとめられた社会保障審議会生活保護基準部会の検証結果を踏まえ、生活

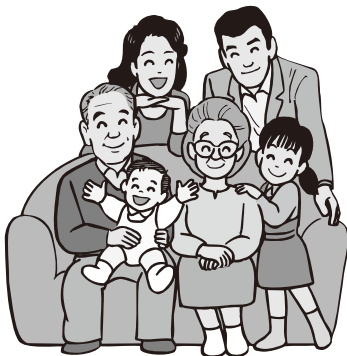
保護受給者の年齢・世帯人員・地域差による影響の調整

や物価の動向を勘案し、生活保護基準の見直しは、本年8月から3年間で段階的に実施される。今回の見直し基準により、本年6月1日現在の本市の保護世帯352世帯で廃止になるケースはない。保護費については、3年間で、本市で最も多い70歳以上の単身世帯の場合、基準額が、月560円の増額。40代の母親と中学生1人の母子世帯では、月6,000円の減額。40代の夫婦と小学生、中学生の4人世帯では、月1万5,000円の減額となり、世帯人員が多い世帯ほど、保護基準額は下がる傾向にある。しかし、60歳代の単身世帯は少し増額になったり、労働収入のある人は収入の必要経費として差し引く控除額が多くなり、保護費が増額になる世帯もある。なお、年末のみに支給される期末一時扶助は、支給額の算出方法が変わり、家族の多い世帯ほど減額となる。

問 保護基準の引き下げによって、最低賃金や年金、就学援助、国民健康保険税、保

育料等に影響があると聞くが、その影響はどのようなものか

答 生活保護基準は、最低賃金を決める際の一つの要素ではあるが、保護基準の見直しは必ず影響するものではないと聞いている。就学援助については、要保護者については、平成25年度当初に要保護者として就学援助を受けていたものについて、保護基準見直し以降も、引き続き国による補助の対象とされる。また、要保護者に対する就学援助は、国の取り組みを理解したうえで各市町村において判断することとなっている。今後、保護基準の内容を確認したうえで、できるだけ子どもに影響が及ばないように対応していきたい。



江口隆一 議員

古紙リサイクルに関する覚書について

問 弁護士への質問の中身について、具体的な内容はどのようなものか

答 随意契約については相談し、可能との回答。覚書については相談していない。

問 これまでの答弁との整合性はどうか

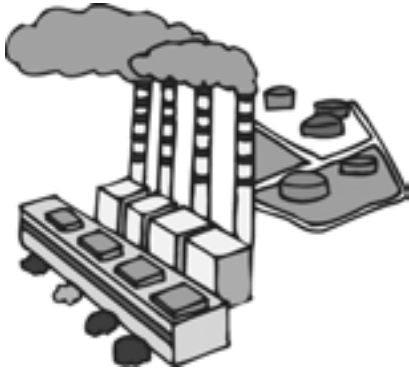
答 随意契約の相談はしたが、覚書については相談したとは言っていないので、矛盾はない。

問 平成24年12月議会では、「弁護士も入れまして・・・、別に問題無い」と言う事で踏み切った。」と答弁しているが

答 覚書について弁護士に相談したとは言った事はない。木質バイオマス発電について

問 蛍光灯リサイクル企業が進出表明をしていたにもかかわらず、進んでいないが、そこに教訓はないのか

答 まだ進出協定を結んでいなかったため、誘致企業と言



う呼び方は適切ではない。上手くいかないのは、手続きや資金調達の遅れが原因だ。

問 市外の木質バイオマス発電所へ材料を供給することで、林業、製材業振興の目的は達成されるのではないのか

答 エネルギーの問題や、経済活性化の観点も含めた構想。地元資本を中心とした発電所を立地し、地元の利益を最大化したい。引き続き成否の見極めを行っていく。

問 2年後の燃料高騰はないのか

答 事業者はそのような事は望んでないので避ける努力をするのではないかと。どうすれば競合を避けられるかも含め調査する。

ハイウェイオアシス構想について

問 活性化に有効と思われるかどうか

答 国は地元自治体が動けば可能であるとの回答があり、雇用や特産品の販売、観光などの面で有益である。

問 今後水俣で取りくむ考えはないか

答 設置する可能性はあるが、場所、設置主体など可能性や実現性を調査する必要がある。また国土交通省や県と協議し意見を聞きたいと考えている。

谷口明弘 議員

木質バイオマス発電について

問 市が検討を進めている木質バイオマス発電所について、事業主体が決まらないままの現状をどう考えるか

答 事業主体を発電事業会社として、民間の力や市民の参加を促しながら事業化を目指すものであり、行政の役割としては、本計画の実現に向け、事業主体の設立に向けた必要

な調査や検討、スキームづくりがあり、現在、関係機関との協議を行っているところである。ただ、議員指摘のとおり、事業主体が決まらなければ事業化に向けた、より具体的な検討が進められないので事業主体の設立へ向けて、鋭意取り組む。

問 バイオマス発電所については、先発の成功例ばかりに目を向けている感が否めない。失敗例も多くある中、発電や木材事情に素人な地方自治体が積極的に絡むのはいかがなものか

答 慎重に検討している。

問 本市としては具体的にどのような事業を行うのか

答 湯の見入り口から公園までの景観と道路の一体的な整備やフィッシングパークの再整備、陣内、長野町線の歩道整備事業、橋梁長寿命化、及び湯堂漁港や茂堂漁港の長寿命化計画の策定事業などを行う。

フードバレー構想について

問 熊本県が進めるフードバ

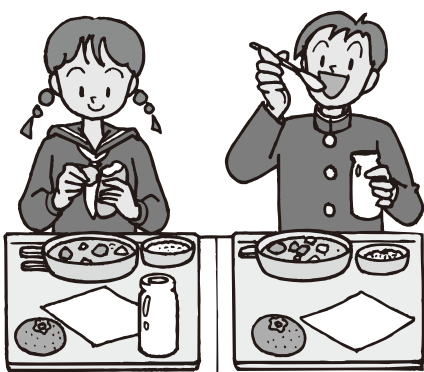
レー構想について水俣市の取り組みが他の自治体と比べて遅れをとってはいないか

答 県南地域の豊富な農産物を活かし、食品・バイオなどの研究機関や企業を集積することで食関連産業の振興と地域活性化を目指すもの。7月30日に熊本県南フードバレー推進協議室を立ち上げる準備を進めている。

学校教育について

問 学生確保に苦しむ水俣高校の特色の一つとして給食を提供出来ないか

答 建設にあたって使用した補助金の性質から問題がある。



常任委員会の報告

厚生文教委員会

〈主なもの〉

●平成25年度水俣市一般会計補正予算第2号中付託分について

補正の主な内容は、人事異動等に伴う人件費の調整の他、第3款民生費に放課後児童健全育成事業、第4款衛生費に予防接種事業、第9款教育費に文化会館管理運営費等を計上しています。

なお、財源としては、第14款国庫支出金、第15款県支出金、及び第20款諸収入をもって調整しているとの説明を受け、質疑を行いました。

質疑の中で、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業についてただしたのに対し、小児慢性特定疾患児に対し日常生活用具が必要である児童に支給する事業であり、芦北圏域では小児慢性特定疾患の対象児童42人のうち、水俣市では2人が用具支給を受けているとの答弁がありました。

また、予防費の予防接種救済給付金の詳細についてただしたのに対し、平成23年に予防接種が原因で副反応が発症した乳児に対し、遡及分を含めて給付する予算であるとの答弁がありました。

また、予防接種の過誤が立て続けに4件発生したことについて、行政から医療機関に対し指導や改善策についてただしたのに対し、母子手帳記載欄の予防接種受診履歴の確認とチェックリスト確認の徹底、医療機関職員全員を対象とした専門家による研修会の実施等、これまでの取組みに加えて今後発生しないよう対策を行っていくとの答弁がありました。

特に討論もなく、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

総務産業委員会

〈主なもの〉

●平成25年度水俣市一般会計補正予算中付託分について

誘致企業立地促進補助金

この補助金については、対象企業と市との間で交わされた古紙リサイクルに関する覚書が多くの市民に不信感を抱かせたが、市民への説明もされないまま、信用と信頼を取り戻すには至っていないため、委員の中からこの補助金を削除する予算の修正案が出されました。委員会では、覚書も既に破棄され、条例の要件を満たしているのに補助金の予算を認めないことは、今後の企業誘致に大きな影響があり反対であるという意見と、市民や議会に対する説明も十分されておらず、公正、透明でない段階で補助金の予算を認めることはできないという意見がありましたので、採決の結果、賛成少数で修正案は否決すべきものと決定しました。このため補正予算原案について、採決を行い賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

●公有財産処分について

国道3号、南九州西回り自動車道芦北出水道路用地として処分、国土交通省と土地売却額1億1,710万4,475円で協議完了であるとの説明を受け質疑を行う。特に討論もなく全員異議なく原案のとおり可決。

●私道災害復旧工事の補助について

人工的に手を加えたところへ災害が起きた場合にも、補助ができるのかとただしたのに対し、複数の世帯が日常的に使っている公共性の高い私道であれば、宅地開発で作られたもの、自然道等の区別は規定していない。

*委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。常任委員会は今期から2つになりました。



たい聞きたい

報告会へのご参加ありがとうございました。

第4回議会報告会は、4月23・24日に計 8力所で開催し、参加者80名でした。

議会報告会は、みなさんに議会を身近に感じていただくために、定例会の報告を中心

に開催しているものです。なお、この報告会

は、原則として議員個人の意見は述べないこ

ろ…市民の質問 議…議会の回答 市…市の回答

人口対策・企業誘致・雇用はどうする

○ 企業誘致も含め人口対策はどうか

まず雇用の場の確保が急務と

ひいては人口増にもつなげて

○ 政府の予測においては、今後、全国的に人口が減少に

転じることが見込まれ、水保

○ 企業誘致の現状とネック

市についても平成32年には2

限つきではありますが、多く

○ 企業誘致については、市

19,038人とする予測も

の臨時職員を市で直接雇用し

○ 企業支援センターとは何

あり、このままでは、財政規

ているところです。一方、少

○ 企業支援センターは、産

模の縮小により市民サービス

子化対策としては、安心して

○ 企業支援センターは、産

の水準の維持すら難しくなる

子どもを産み育てられる環境

○ 企業支援センターは、産

事態も予想されます。人口減

を整備するため、妊婦検診の

○ 企業支援センターは、産

少の要因について、本市では

無料化、小学生までの子ども

○ 企業支援センターは、産

生産年齢と言われる15歳から

子育て支援事業などを行って

○ 企業支援センターは、産

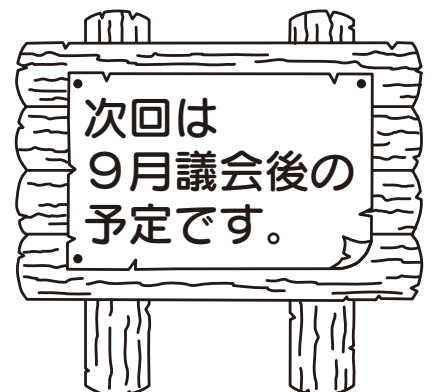
64歳の世代の流出が多くなっ

ています。その対策としては、

○ 企業支援センターは、産

の事業連携を図るなど、地場

また、関係機関との連携・情



特集

第4回 議会報告会

今回実施した会場

白浜集会所・古賀町公民館
汐見町公民館・神川公民館
初野集会所・月浦公民館
茂川公民館・深川公民館



議員に言い

空き家に関する条例で何を決めたの

○ 空き家対策の一定の基準はあるのか。認定はどうするのか。地域住民が判断するのか。

市 水俣市空き家等の適正管理に関する条例において対象となる空き家の状態とは、「屋根、壁、支柱など主な部分が破損、腐食するなどして、倒壊または一部が飛散したりはがれ落ちたりして、人の生命、身体、財産に害を及ぼすおそれのある状態」と「不特定者の侵入による火災や犯罪を誘発するおそれのある状態や雑草が繁茂し、野犬や野良

猫の住み家、害虫の発生場所になるなど周囲の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある状態」であり、市の職員が現地を調査し判断します。

と判断しておりますが、再度条例の対象となる空き家かどうかを調査します。

○ この条例で強制撤去ができるのか

市 空き家条例は実効性が難しいと思うが、家屋の所有者がわからないものもあるのか、24箇所あると聞いていたが、どうか

市 家屋の所有者については、家屋台帳や戸籍など、可能な限り調査します。平成22年の調査で危険と判断された24戸の空き家は、その後の追跡調査で8戸が危険な状態である

市 この条例では、対象となる空き家の所有者に対して、助言、指導、勧告、命令、氏名等の公表を行うとしていますが、強制撤去（代執行）については規定しておりません。

市 取り壊しは所有者が行うこととなります。補助制度については現在のところありません。

市 空き家は市が壊すのか、市は補助しないのか

市 取り壊しは所有者が行うこととなります。補助制度については現在のところありません。

市 空き家の実態を早く調査して貸してもいいという人と移住して水俣に住みたいという人の橋渡しをしてほしい。農地なども連携させて就農者の確保などに役立てたらどうか

市 水俣市空き家等の適正管理に関する条例は、空き家の所有者に適正な維持管理を求め、倒壊などの事故、犯罪、火災などを未然に防止するため制定しました。空き家の活用については、今後の課題として検討していきたいと思えます。

自治会のいふ

○ 自治会の今後のあり方についてどう考えているか

市 各自治会でも様々な課題が出てきていると考えますので、まずは自治会長等を通じて情報交換を行いたいと思います。

市 平成24年度に各自治会に対し、防犯灯建設補助の要望調査を行い、その結果を基に今後計画的に補助を行うため、平成25年度防犯灯建設補助金の予算を増額しています。なお、維持管理費については、防犯灯を管理されている地区にご負担いただいております。

○ LED照明（公共空間整備事業）の経費が計上されているが、各地域の外灯や防犯灯のLED化や維持費の予算

を増やしてほしい

防災—確実な情報伝達を—

○ 初野地区で個別受信機はあるが、屋外のスピーカーがないところがある。外にいる人や漁で海に出ている人にも知らせたいが、市で対応を考えて欲しい

市 熊本県において、大雨や台風をはじめ災害に関する様々な情報を携帯電話のメールで受信できる防災情報メールサービスを実施していますので、防災無線や個別受信機で情報を得られない場合は、そちらの活用もお願いします。また、重要な情報は、エリアメールや緊急速報メールを利用して、情報を伝達しています。

○ 防災無線のデジタル化について、聞こえにくいので個別受信機を設置することはできないか

市 現在、防災無線のデジタル化の計画を進めており、個別受信機の配備についてもその中で検討していきたいと思っています。

○ 海抜表示は数が少なく屋内に貼ってある。電柱などが見えるところに貼ってほしい

市 海抜表示については、現在市が管理する避難場所や地域管理避難所に掲示しています。電柱等へ表示する場合には、電柱等の管理者や警察署等との協議が必要で

が、今後は設置に向けて検討します。

○ 2月10日の防災訓練の際に小津奈木地区では防災無線が鳴らなかつたがなぜか

市 小津奈木地区でも防災無線を鳴らす予定としていましたが、機器の操作ミスで防災無線が鳴りませんでした。原因を把握し、マニュアルを修正するなどの対応は終了しました。今後、機器の保守点検を含め同様のことが発生しないよう努めていきます。

○ 自主防災組織について、一人暮らしの高齢者等の避難対策は（個人情報問題から電話番号等を教えてもらえない）

市 連絡先を教えてもらえない場合は、連絡網の連絡先の欄に「直接自宅へ」などと書き込み、自宅へ直接情報を伝えるに行くなどの対応をお願いします。また、連絡網の伝達順は家の並びなども考慮し、自力で避難できない高齢者等に対しては、隣近所の協力でカバーできるように、集会などの際に話し合いをお願いします。

○ 市では各避難所のための備蓄はされているのか。地区の避難所に避難者があつたときの毛布、暖

房器具、扇風機など自治会が対応すべきなのか。市が備えてくれるのか

市 保管場所や管理方法等の問題もあり、現在市として毛布や暖房器具等の備蓄はしていないが、業者等と災害時応援協定を締結し、流通備蓄での対応を行っています。地域で管理する避難所の備蓄品については、地域で対応していただきたいと考えています。なお、市では自主防災組織（自治会）に対して備蓄品の購入補助を行っています。

○ 最近地震が頻発しているが、防災指針を作つて欲しい

市 広報紙等を活用して、防災に対する啓発をはじめ避難所の周知などを行うとともに、水俣市地域防災計画を策定し、災害時の対応等について示しています。

○ 市民への防災の啓発活動をどんどんやってほしい。防災グッズの点検なども含め、年に何回かやって欲しい。市民の行動計画も作つて欲しい

市 防災に対する啓発活動は重要であると考えています。今後も地域の自主防災組織等とも協力して防災に関する意識の高揚を図るとともに、「自助、共助、公助」等について防災に対する基本的な考

太陽エネルギー利用システムへの補助は？

	補助金額		受付期間	いずれも、工事着工前に申請し、補助決定後に着工してください。補助対象の詳細や必要な手続き等については、補助金交付要綱をご覧ください。環境モデル都市推進課へお問合せください。 TEL：0966-61-1612
	市内施工業者利用	市外施工業者利用		
太陽光発電システム	1kWあたり10万円 (ただし上限30万円)	1kWあたり3万円 (ただし上限10万円)	平成26年2月28日 ただし、予算(100件程度)に達した時点で受付終了	
太陽熱温水器(自然循環型)	設置費用の5分の2 (ただし上限7万円)	設置費用の5分の1 (ただし上限3万円)	平成26年2月28日 ただし、予算(65件程度)に達した時点で受付終了	

道路・川・公園のこと

え方もしつかり理解していただきたいと思えます。また、市全体の防災計画は策定していますが、市民の具体的な行動計画については示されていません。災害の種類やそ

のときの状況で取るべき行動も様々であり、市民一人ひとりが災害時に自身が取るべき行動について日ごろから考え、ご近所や地域とも話し合いを持っておくことが重要です。

通省と協議を行いました。現在のところ計画はないが、関係機関（おれんじ鉄道等）と調整をとりながら協議を進めていきます。」と回答をいただいております。

あるため、未対応箇所も含め伐根などの対策と定期的な維持管理を県に要望しています。○ 花が長く楽しめるように公園に八重桜を植えたいが、苗木がもらえるところはないか

○ 桜ヶ丘から水俣川沿いの道路が交差する地点（日当交差点）の道路改良工事はいつ始まるのか

○ 境川の橋の下に竹が茂り危険な状態である。根本的な対策をしてもらいたい

○ 苗木だけを提供するものはありませんが、くまもと緑・景観協働機構等の助成事業もありますので、条件等の詳細は都市政策課にお問い合わせください。

○ 花のまちづくりについて、植え替えが頻繁に行われているようでもったいない。管理をしっかりとって経費削減に努められないか

○ 桜ヶ丘から水俣川沿いの道路が交差する地点（日当交差点）の道路改良工事はいつ始まるのか

○ 平成20年と23年に河川管理者である県により、境川の雑木や暖竹の伐採が行われましたが、成長が早く繁殖力が

○ 苗木だけを提供するものはありませんが、くまもと緑・景観協働機構等の助成事業もありますので、条件等の詳細は都市政策課にお問い合わせください。

○ この事業は、環境首都にふさわしい景観づくりの一環として、四季折々の花が一年中楽しめるように整備していきますが、植え付けについては無駄のないよう適切に管理していきます。

農業支援のこと

○ 昨年度熊本県が実施計画に着手したところですが、今後関係機関と調整を図り、随時用地を買収する計画となつていると県から聞いています。なお、工事着手については、その時点の予算確保と用地買収の進捗状況によるとのことです。

○ 電柵の補助は個人では受けられないのか

○ 現行の電柵の補助制度は、補助事業者は2戸以上の林業者等で組織され、地域の林業振興につながる計画性を持つ団体となっています。今後は、イノシシなど有害鳥獣の被害軽減を図る観点から、個人でも受益者になれないか検討していきたいと思えます。

○ 東日本大震災の被災者等から個別の要望や相談があれば、その要望に応じて、農地等の紹介や斡旋など、農業委員会、地域の農業委員と連携して対応していきたいと考えています。

○ 茂川に来る途中2箇所まで道幅が狭くなっている。拡張はできないのか。長崎地区から先の道路の中央線が消えている。霧が濃い日など特に危ないの線を引きてもらいたい

○ 神の川の鉄橋ガード下、数メートルが歩道がないので危険である。おれんじ鉄道と協議ができないか

○ 新規就農支援総合対策事業について、農業従事者が高齢化して担い手不足が心配されている。東日本大震災で被災された方で、九州の地で農業をやってみたいという方たちへの就農支援はできないか

○ TPPは農業の問題だけではない。水俣市内では危機感を感じないが、議会ではTPPについてどう考えているのか

○ 長崎集落手前の狭い箇所については、今年度、用地買収に着手し、交渉がまとまり

○ 昨年度まで実施されていたアグリサポート事業が今年度からなくなると聞いている。耕作放棄地の解消のためにも有料でもいいので復活してほしい

○ 新規就農支援総合対策事業について、農業従事者が高齢化して担い手不足が心配されている。東日本大震災で被災された方で、九州の地で農業をやってみたいという方たちへの就農支援はできないか

○ TPP問題については、平成23年3月議会でTPP参加反対の陳情書を採択し、意見書を可決しています。

医療センターのこれから

- 医療センターの休床50床はそのままなのか
- 医療需要の動向を見極めながら検討を行う予定ですが、現在のところ50床は休床のままです。
- 看護師の奨学金はあるが、医師への奨学金はないのか
- 医師への奨学金については、現在のところ実施予定はありません。
- 医師不足の心配はないか
- 神経内科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科が常勤医不在でしたが、本年4月から神経内科の常勤医が2名確保できました。今後も大学医局等と連携をさらに深めながら、医師の確保を図っていきたくと考えています。
- 医療センターの西館跡にできる立体駐車場は何台入るのか。体育館の奥の駐車場はそのまま残すのか。立体駐車場完成後は十分な駐車台数は確保できるか
- 西館跡に建設する立体駐車場及びその周辺で130台分となる予定です。当センター利用者の皆さまにご迷惑をかける

では取り付けたいと思います。駐車場の精算機については、精算機土台部分を一部切断したいと思えます。また、状況を見て駐車場の進路の検討と精算機の設置場所の変更を行いたいと思えます。

- 医療センター西館の障がい者用トイレの手すりが片方しかないので、両方に取り付けてほしい。駐車場の料金支払いがしにくい角度になっている
- 医療センター西館の障がい者用トイレの手すりについて
- 学校の太陽光発電で、売電収入はどれくらいあるのか
- 小学校では年間約110万円、中学校では年間約120万円の売電収入があります。
- 緑東中学校体育館の雨漏りについて、何回となく教育委員会には伝えましたが、優先順位があるということではない。雨漏りが解消されていない。早急に対処してほしい
- 平成25年度中に応急処置を実施する予定です。平成26年度には本工事予算を計上する予定です。
- 市立図書館は出水市などと比べ狭い。蔵書も少なく欲しい本を司書に尋ねたら予算が厳しいとの返事だった。本のリクエストをしてもなかなか若い人向けの雑誌など入れてもらえない。もう少し市民の声を聞き入れ蔵書に反映できないか。また夏休み期間に本の消毒などで休館にするの
- 本図書館は、昭和57年に開館し所蔵数10万冊の施設規模で、すでに30年を経過しています。リクエストサービス

として、他市の図書館から取り寄せたり、新規に購入したり沿うように対応しています。

予防接種のこと

- ヒブワクチン接種が義務化されたが、各地で副作用の事例が発生している。きちんと後遺症・副作用があることも知らせてほしい
- ヒブワクチンも含む全ての定期予防接種の受け方や副作用について、「受けましよう！子どもの予防接種く感染症から子どもを守ろうく」のパンフレットを赤ちゃん訪問時に配布し、お知らせしています。平成25年度からヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種となったことに伴い、赤ちゃん訪問時にPR紙（予防接種の受け方や接種の注意事項として副反応等を載せたもの）を配布し、お知らせしています。今後、予防接種の効果や副反応について、さらに住民にお知らせするよう、周知方法を検討していきたいと考えています。
- 子宮頸がんの予防接種の対象者はどれくらいか
- 平成25年度の子宮頸がん
- 今年、全国的な行事が水俣で開催されるが、市民が手伝えることはないのか
- 「第33回全国豊かな海づくり大会」本大会に関連した各種イベントの水俣開催を計画しており、市民ボランティアを募集します。「水銀条約外交会議」10月9日に視察、開会セレモニー、歓迎レセプション会場での通訳業務やその他、今後必要に応じてお願いしていきます。熊本県のホームページにて詳しく紹介

りして、できる限りご希望に沿うように対応しています。

観光のこと

- 今年、全国的な行事が水俣で開催されるが、市民が手伝えることはないのか
- 「第33回全国豊かな海づくり大会」本大会に関連した各種イベントの水俣開催を計画しており、市民ボランティアを募集します。「水銀条約外交会議」10月9日に視察、開会セレモニー、歓迎レセプション会場での通訳業務やその他、今後必要に応じてお願いしていきます。熊本県のホームページにて詳しく紹介

されていますのでご覧ください。今年11月開催の「日本商工会議所青年部第31回全国会長研修会」については、一般市民のボランティアとしての参加は想定していないということです。

○ 入込客数を増やす方策はないか。行政はマスコミにお金を使わない、観光宣伝が少なくと感じるがどうか

市 水俣PRのため、タウン情報誌への広告掲載、サービステリアへのパンフレット設置、県と連携した物産及び観光PRを実施しています。今後もより効果的な観光客誘致事業を実施したいと考えています。

福祉のこと

○ 社会福祉協議会（社協）が介護事業から撤退するが、解雇になるのか

市 有期契約の期間満了時に、事業終了に伴い更新をしておりません。他所への就業を望むスタッフについては、本人の希望に沿うように努め、ヘルパーは全員就業しました。ディスプレイは有資格の数人

が未決定ですが、現在も介護保険事業所の採用条件等を収集して情報を伝えていきます。

○ 社協は介護保険事業から撤退するというが、事業を減らしても社協会費がそのままならば値上げと同じではないのか

市 介護保険事業は、その事業収入のみで運営しており、社協会費は使っていません。市民の皆さんからいただいている社協会費は、ふれあい・いきいきサロン活動、福祉用具貸与事業、学童クラブ支援、社協だよりの発行などの法人運営事業の経費としていきます。

○ 議会は社協の介護事業からの撤退について、組織の中心をきちんと把握してもらいたい。また社協のあり方、実態を知ってもらいたい

議 社協からの要請によって、議長、厚生文教委員長が理事になっていきます。ただし、業務内容、経営状況について、議会の権限は及びませんが、社協の業務等については、各議員が個々に把握するように努めます。

○ 市民後見人制度は何人の人が登録し、利用はどのくら

いあっているのか

市 高齢化社会の進展に伴い、介護を必要とする認知症高齢者の増加が予想されています。これらの方の中で、日常生活管理や福祉サービスの利用等について、自己の判断で適切に行うことが困難で、家族等親族の支援を受けることができないなどの状況に対応するため、平成24年4月老人福祉法が改正され、後見等に係る体制の整備等が明記されたところです。この中で後見、保佐及び補助の業務を適正に行うことができる人材の育成及び活用を図るために必要な措置を講ずるよう努めることとなっており、市としても、今年2月から3月にかけて市民後見人養成講座を開催したところです。現在のところ、市民後見人制度への登録はなく、利用者もありません。4月1日に水俣市権利擁護センターを設置しましたので、司法書士等で後見の業務を行っている方や家庭裁判所等と連携を図りながら具体的な後見に向けた体制づくりを推進してまいります。

議会・議員へ

○ 議会だよりはページ数を増やしても中身を詳しく書き、一般質問については全部を載せるべきだと思ふ。開かれた議会というのなら、分かりやすくすべきではないか

○ 議会だよりは読みたいたいと思われるものにしてもらいたい

市 市民に読まれる議会、だよりになるように、今後、紙面改善に努めてまいります。

○ 議員は地区の細かなところまで分かっているかと思う。報告会の開催対象地域を現在の区単位ではなく、地区の公民館の数に合わせてみてはどうか

議 議会報告会の実施方法については、開催時期、実施対象区域の単位、内容等について、今後検討し改善していくことになっていきますので、ご意見も参考にさせていただきます。

他にもこんなご意見がありました。

● 議会の内容は難しいが、こうした機会を設けてもらっ

て良かった。もう少しくだけてわかりやすく話していただければ良いと思う。

● 議員自ら足を運んで、住民の声を強く反映すべきと思う。

本会議の様子をインターネットで見ることができま

水俣市
ホームページで

インターネット録画放送

水俣市 議会 検索 <http://www.city.minamata.lg.jp>

『市議会だより』のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

「議会インターネット中継」をクリック！

不明な点は市議会事務局（電話61-1661）までお問い合わせ下さい。

他自治体からの視察

(平成25年4月～6月)

- 4月16日 奈良県山添村議会
・村丸ごと生活博物館、ごみ減量への取り組みについて
- 4月18日 奈良県五條市議会
・議会運営について
- 4月23日 愛媛県松山市議会
・環境モデル都市としての取り組みについて
- 4月25日 島根県浜田市議会
・元気村づくり条例について
- 5月9日 山形県天童市議会
・環境への取り組みについて
- 5月14日 大阪府交野市議会
・再生可能エネルギーの推進及びごみ減量化の取り組みについて
- 5月22日 宮城県石巻市議会
・村丸ごと生活博物館の推進について
- 5月23日 鹿児島県出水市、阿久根市、長島町議会
・環境クリーンセンター等について
- 5月28日 富山県射水市議会
・環境モデル都市づくりについて
- 6月26日 千葉県佐倉市議会
・村丸ごと生活博物館について

議会の主な動き

(平成25年4月～6月)

- 4月1日 市職員人事異動(栄永尚子主幹が議会事務局次長に、山口礼浩主事が議事係に、赤司和弘参事が市長事務局局出向)
- 4月11日 議会報告会事前打ち合わせ会(正副議長、議会運営委員会正副委員長、各班長議員出席)
- 4月21日 水俣市消防点検(副議長ほか議員出席)
第八師団創隊51周年及び北熊本駐屯地開設56周年記念行事(議長出席)
- 4月23日 議会報告会開催(白浜集会所、古賀町公民館、汐見町公民館、神川公民館)
- 4月24日 議会報告会開催(初野集会所、月浦公民館、茂川公民館、深川公民館)
- 5月1日 水俣病犠牲者慰霊式(議長ほか議員出席)
- 5月7日 議会運営委員会(6月定例会の会期等について)
水俣市遺族会総会(副議長出席)
- 5月24日 議会運営委員会(6月定例会の提出議案について)
掃海艇「うくしま」艦上昼食会(議長出席)
水俣市社会福祉事業団理事会(議長ほか厚生文教委員長出席)
- 5月31日 平成25年第2回水俣市議会定例会開会
- 6月11日～13日 一般質問、質疑
- 6月14日 各常任委員会
- 6月19日 平成25年第2回水俣市議会定例会閉会

政務活動(調査)費を公開しています

政務活動(調査)費とは、議員の調査研究その他の活動のために必要な費用として、各会派に対して交付されるものです。(☆交付額：会派の所属議員数×月額20,000円) 地方自治法の一部改正に伴い、平成25年3月から「政務調査費」は「政務活動費」に名称変更しました。水俣市議会では、ホームページで収支報告書、領収書等を公開しているほか、閲覧請求も事務局で受け付けています。



編集後記

日頃から議会だよりを読んでいたが、編集委員一同心から感謝を申し上げます。

議会報告会での皆様の意見の中で、議会だよりについて、読みにくい、理解しにくい等の意見がありました。

紙面の都合上、字数に制限があり、編集委員として一番苦労しているところではありますが、今後改善して、市民の皆さまに喜んでいただける議会だよりしていきたいと思えます。

今後ともよろしくお願います。

編集委員(委員は50音順)

委員長	塩崎 信介
副委員長	田口 憲雄
委員	川上 紗智子
〃	谷口 眞次
〃	西田 弘志
〃	淵上 道昭
〃	牧下 恭之
〃	眞野 頼隆